

科目名					授業の種類	授業担当者	
子どもと表現B					演習	小池 悟	
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修		
1年	1	30	15	前期	幼児:選択必修		保育士:選択
[授業の目的・ねらい]							
・幼児の発達や学びの過程を理解し、造形表現活動の設定や支援に必要な知識や技能を研究する。 ・造形表現活動に関わる具体的な指導場면을想定した保育を構想する方法を習得する。							
[授業全体の内容と概要]							
・保育における造形表現活動の特徴や面白さを確認し、作品制作を通して基本的な技能や知識を学び、造形表現活動を構想・計画・指導する力を身に付ける。また、子どもの造形表現活動の支援に必要な様々な要素を学ぶ。							
[受講上の注意事項]							
・授業内容を振り返り復習し、理解を深める。 ・日頃から子どもの造形表現活動に関心を持つよう心掛け、制作作品は必ず完成させる。 ・はさみ、のり、定規などは各自用意し授業の都度持参する。その他忘れ物をしない。							
[使用テキスト]				[評価基準]			
・「幼児造形の基礎」(萌文書林) ・その都度資料プリントを配布。				・制作した作品・課題レポートの提出70％ ・授業への興味・関心・意欲30％			
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]							
回	項 目		授 業 内 容				
1	オリエンテーション		・領域「表現」のねらい及び内容の理解 乳幼児の生活と遊びにおける造形的な表現について				
2	コミュニケーションツール ①		・「アピールカード」の作成。自分を伝える、みんなのことを知る。				
3	コミュニケーションツール ②		・リレー転写…視覚情報の伝達について実験をする。				
4	素材との対話 ① 新聞紙 (1)		・新聞紙で遊ぶ…丸める、ち切る、折る、包む。ゲームをする。				
5	素材との対話 ① 新聞紙 (2)		・新聞紙で折る…身近で使える道具や遊具をつくる。				
6	素材との対話 ② 折り紙 (1)		・折り紙入門 ～花・動物などを折ってみる～				
7	素材との対話 ② 折り紙 (2)		・折り紙応用 ～季節を感じる折り紙～				
8	素材との対話 ② 折り紙 (3)		・折り紙の世界…「名前」をアルファベットで折る				
9	素材との対話 ③ 粘土 (1)		・小麦粉粘土で遊ぶ…練る、伸ばす、丸める、包む。形づくる。				
10	素材との対話 ③ 粘土 (2)		・紙粘土でお弁当づくり…食材を模して形づくり。				
11	素材との対話 ③ 粘土 (3)		・紙粘土でお弁当づくり…食材に似せた色で着色する。				
12	色彩の学習 ①		・色彩の性質について「7色の虹と色相環・補色」				
13	色彩の学習 ②		・色彩の性質について「明度と再度・無彩色と有彩色」				
14	色彩の学習 ③		・色材(絵の具)の性質について「透明と不透明・塗り重ねの効果」				
15	学習のまとめ		・これまでの学習内容をまとめる。				
実務教員としての経歴							
実務経験と授業の関連							